

詳細は、

<http://www.tcmit.org/information/news/2015/09/3216>

をご参照ください。

【3】「三河知立駅開業 100 周年記念展—知立の駅のものごと—」のご案内【New】

名古屋レールアーカイブスでは、「三河知立駅開業 100 周年記念展—知立の駅のものごと—」を開催いたします。

今から 100 年前の 1915 (大正 4) 年 10 月 28 日、知立の街に初めて鉄道の駅ができました。三河鉄道の知立駅 (現・三河知立駅) です。三河鉄道は、前の年の 2 月 5 日に刈谷信 (現・刈谷) —大浜港 (現・碧南) 間を開業。その後、知立、拳母 (現・豊田)、蒲郡へと北へ南へと路線を延ばし、1926 (大正 15) 年には猿投—大浜港を電化すると共に、1936 (昭和 11) 年には蒲郡—西中金館を全通しました。

三河鉄道は、旅客輸送はもちろん高浜、新川や大浜などで生産される土管や瓦など陶製品を運ぶ貨物輸送としても重要な役割を担っていました。戦時体制が進むなか、1941 年に名古屋鉄道と合併して三河線になりました。本展では、知立の変遷を中心に三河鉄道や名鉄三河線で走った電車などを紹介します。

開催期間 2015 年 10 月 24 日土曜日～11 月 17 日火曜日 (毎週月曜日は休館)
開催時間 平日 9:00～19:00 土曜・休日 9:00～17:00
開催場所 知立市図書館 展示コーナー
交通 知立駅から徒歩約 10 分
知立市ミニバス ブルーコース「図書館」より徒歩 3 分
主催 知立市
協力 名古屋鉄道株式会社・名古屋レールアーカイブス

詳細は添付ファイルをご参照下さい。

また、三河線 (刈谷駅～三河知立駅間) 開業 100 周年イベントについては、次の URL をご参照ください。

http://www.meitetsu.co.jp/recommend/catalog/1243986_5053.html

【4】平成 27 年度 第 11 回パネル展と講演会 (公開定例研究会) のご案内【再送】

2015 年 11 月 17 日火曜日～29 日日曜日まで、名古屋都市センター11 階まちづくり広場にて、平成 27 年度パネル展 (第 11 回) を開催致します。

今回のテーマは、「東海の絹・文化と産業遺産」です。

この期間中の 11 月 22 日日曜日、講演会と公開定例研究会を開催致します。

講演回と公開定例研究会は、会員以外の方も無料で参加可能ですから、皆様のまわりにおいでの方の産業遺産研究に興味のありそうなたを是非お誘い頂き、多くの方にご参加頂けますようお願い致します。

詳細は、中部産業遺産研究会のホームページに掲載していますので、次のリンクをご参照下さい。チラシ等もダウンロード可能です。

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第 36 回／杉本漢三【New】

永久機関を否定する熱エネルギーの法則

18、19 世紀にヨーロッパで機械が発展した頃、永久機関の発明熱が盛んになり、詐欺で金を集めるベテネ師が横行した。そこでフランスなど政府は、永久機関の特許申請を一切受け付けないことにした。熱力学の第一、第二法則は、第一種永久機関、第二種永久機関を否定する法則である。

そもそも技術的なワットの蒸気機関、ルノアールの内燃機関が生まれた後に、それを理論付ける科学的な熱力学が生まれたのであるから、非科学的な夢想が流行っても致し方なかろう。

(1)熱力学第一法則：いくら膨大な内部エネルギーを持った物質の集合体でも、外部から熱や仕事のエネルギーを供給しない限り、必ず限りあるエネルギーは使い果たしてしまうということである。
内部エネルギーは無尽蔵ではないという当たり前のことである。

(2)熱力学第二法則：高温の熱源から低温の熱源に移動するとき、仕事に変えられなかった残りをうまい機械装置を使って高温の熱源に戻せばよいと考えられたのが第二種永久機関である。これは一度使ったダムの水をその電力でまたダムに戻そうという発想であり、そんなことは有り得ない。
ただし、国内の原子力発電所の余った夜間電力を蓄電器に溜められないから、効率は悪いがダムへ水を戻す「揚水発電」は認めても良いだろう。



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogle グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹
E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



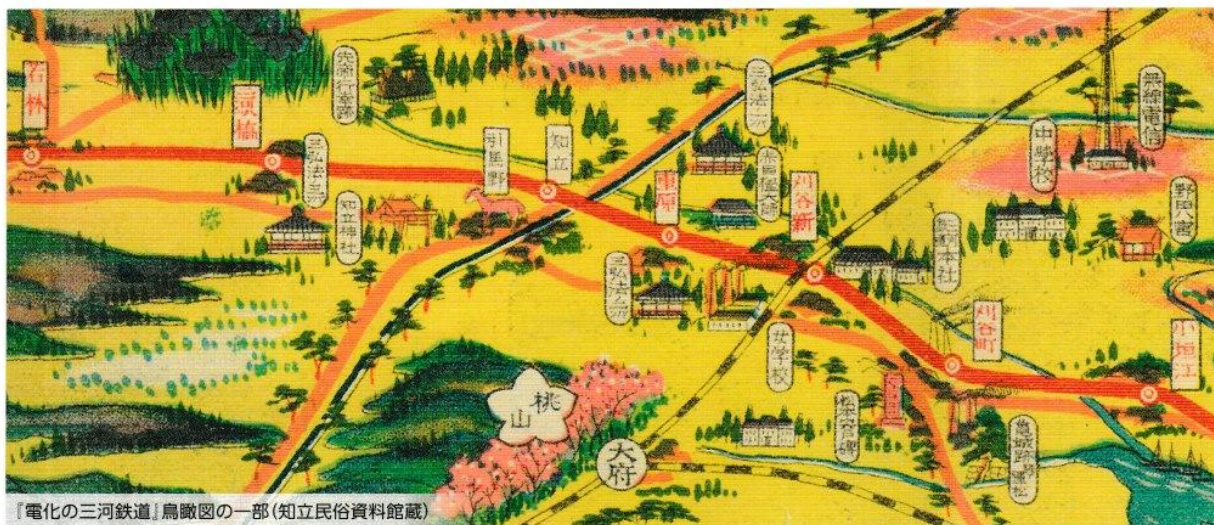
このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

三河知立駅開業100周年記念展

—知立の駅のものごと—



今から100年前の1915(大正4)年10月28日、知立の街に初めて鉄道の駅ができました。三河鉄道の知立駅(現・三河知立駅)です。三河鉄道は、前の年の2月5日に刈谷新(現・刈谷)―大浜港(現・碧南)間を開業。その後、知立、挙母(現・豊田)、蒲郡へと北へ南へと路線を延ばし、1926(大正15)年には猿投―大浜港を電化すると共に1936(昭和11)年には蒲郡―西中金間を全通しました。

三河鉄道は、旅客輸送はもちろん高浜、新川や大浜などで生産される土管や瓦など陶製品を運ぶ貨物輸送としても重要な役割を担っていました。戦時体制が進むなか、1941年に名古屋鉄道と合併して三河線になりました。本展では、知立駅の変遷を中心に三河鉄道や名鉄三河線で走った電車などを紹介します。



昭和41年の三河知立駅(倉知満孝氏撮影・NRA蔵)

開催期間 10/24(土)～11/17(火)
(入場無料・毎週月曜日は休館)

開館時間 平日 9:00～19:00
土・休日 9:00～17:00

会場 知立市図書館展示コーナー
(知立駅から徒歩約10分・
知立市ミニバスブルーコース
「図書館」より徒歩3分)

主催：知立市
協力：名古屋鉄道・名古屋レール アーカイブス
問合せ先：知立市役所経済課
TEL 0566-83-1111(代)

「かつなりくん」一日駅長イベント

開催日時 10/28(水)
①9:00～ ②11:00～ ③16:30～(各回30分程度)

会場 名鉄刈谷駅構内(改札前)

刈谷市マスコットキャラクター「かつなりくん」が名鉄刈谷駅の一日駅長を務めます！当日は撮影会やかつなりくんグッズの販売を行います。また、刈谷駅前観光案内所では100周年を記念した展示も行います。(11/30まで)
問合せ先：刈谷駅前観光案内所 TEL 0566-45-5833(10:00～18:00)

各回先着50名様に
かつなりくん
ステッカーを
プレゼント！

